

発行 社会連携センター
liaison@cc.nara-wu.ac.jp



大学構内の彼岸花(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

11月2日からの学園祭を前に、学生が楽しく忙しく準備に没頭しています。長い夏が終わり、気候の良い11月は学内外でさまざまなイベントが企画されています。社会連携センターでは地域連携推進部門が公開講座などを多く企画し、産学連携推進部門もまたビジネスフェア出展が控えています。

【お願い】奈良女子大学メールマガジンは6月21日時点で400号の配信となりました。読者数は890名程度です。メールマガジンへの配信記事(研究会広報、大学構内写真、大学周辺写真等)がございましたら、e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp までお送りください。

1. 「研究紹介集・シーズ集2013-2014」の原稿募集を行います。

「奈良女子大学研究紹介集・シーズ集」もすでに2004年3月からの発行から数えて11冊目となります。本学のこの冊子は、全学の教員の方に研究紹介シートを載せていただいております。産学官連携のみならず本学を志願される学生さん等、広くご活用いただいております。毎年のご協力に感謝申し上げます。研究教員の皆様には個別にも依頼させていただくこととなりますが、本紙面をお借りして簡単にお願ひ申し上げます。

■ご提出依頼物

(1) 研究概要 【研究者名、研究概要(100-300文字くらい)、専門分野、講演可能題目(講演をするという前提ではなく、専門用語の多い研究概要をわかりやすくサポートするための項目です)】

(2) 研究紹介シート【絵や写真などを添えてビジュアル的に研究内容を紹介していただくページです。A4横サイズでのパワーポイントなどで作成いただくと助かります】

■ご提出希望期限 2013年12月15日

■ご対象 2014年3月15日に奈良女子大学に在籍されている教員



2. 社会連携センターホームページを一新しました。

社会連携センター 産学連携推進部門HPと地域連携推進部門HPが独立する形で長く公開されていましたが、本年4月より社会連携センターHPとして刷新しています。

これまで学外からお問い合わせが多かった「どこに連絡して良いのかわからないので、とりあえず社会連携センターにご連絡しました」という声にお応えする形で、活動紹介に加え、問合せ内容別の、学内連絡先一覧や、各種申請様式がダウンロードできるコーナーを加えたことが特徴です。また、公開講座や過去イベントについても写真を加えて、ご紹介しています。産学連携活動については10年分のデータを紹介しています。

奈良女子大学 社会連携センター

お問い合わせ

産学官連携 公開講座 研究助成 知識財産に関すること
TEL: 0742-20-3734 / FAX: 0742-20-3956
E-Mail: liaison@cc.nara-wu.ac.jp

社会連携センター
TEL: 0742-20-3762 / FAX: 0742-20-3956
E-Mail: henkyou@cc.nara-wu.ac.jp

研究協力課 研究協力所
TEL: 0742-20-3969 / FAX: 0742-20-3956
E-Mail: henkyou@cc.nara-wu.ac.jp

研究協力課 社会連携推進係
TEL: 0742-20-3206 / FAX: 0742-20-3772

教職員の兼業に関すること
総務・企画課 人事企画係
TEL: 0742-20-3204 / FAX: 0742-20-3205
E-Mail: somo@nara-wu.ac.jp

その他 奈良女子大学に関すること
総務・企画課 総務係 (一般的なお問い合わせ窓口)
TEL: 0742-20-3204 / FAX: 0742-20-3205
E-Mail: kokai@nara-wu.ac.jp

総務・企画課 総務係 (情報公開請求について)
TEL: 0742-20-3220 / FAX: 0742-20-3205
E-Mail: somo@nara-wu.ac.jp

総務・企画課 評価広報係 (ホームページの内容について)
TEL: 0742-20-3952 / FAX: 0742-20-3205
E-Mail: hyoka@nara-wu.ac.jp

総務・企画課 (詳細について)
TEL: 0742-20-3952 / FAX: 0742-20-3205
E-Mail: hyoka@nara-wu.ac.jp

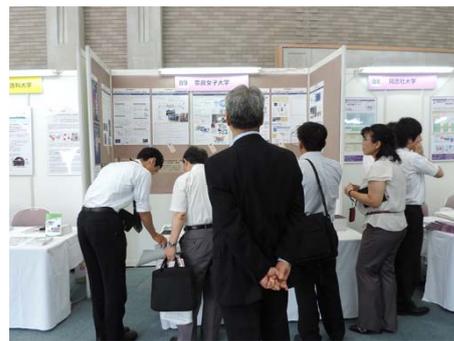
総務・企画課 (関係機関について)
附属中等教育学校
TEL: 0742-28-2571 / FAX: 0742-20-3860
E-Mail: mezu@nara-wu.ac.jp

附属小学校
TEL: 0742-45-4455 / FAX: 0742-40-2180
E-Mail: fuyou@nara-wu.ac.jp

3. 活動報告<1>

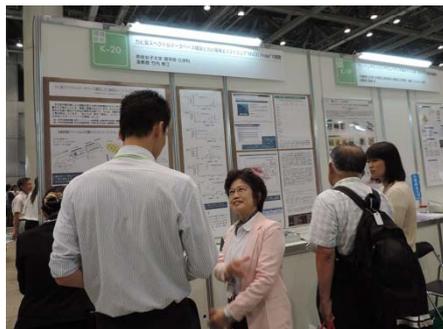
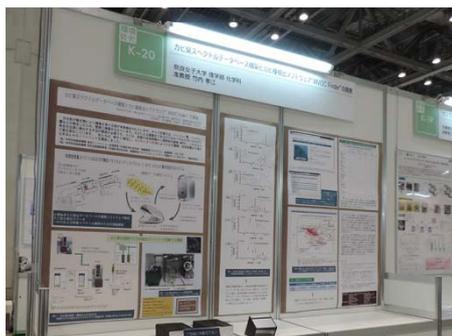
■ 第8回けいはんなビジネスメッセ (7/19)

けいはんな学研都市で行われましたビジネスメッセに参加しました。主催者発表の来場者数は1,450名です。研究紹介集の冊子を持ち帰られる方も多く、このような機会を通して本学で行われている研究内容を、広く知っていただければと思っています。一般企業の方だけでなく、近隣大学との情報交換もできる場になっています。



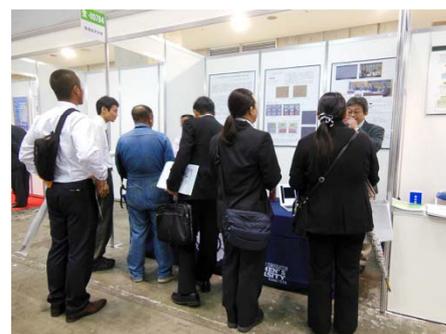
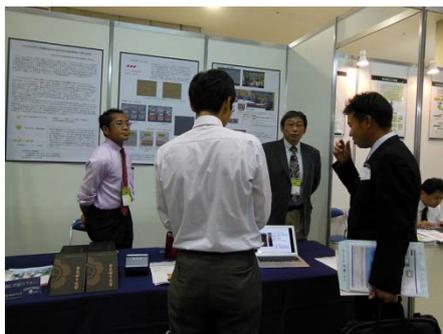
■ イノベーションジャパン2013 (8/29、30)

イノベーションジャパンは、JST（独立行政法人 科学技術振興機構）とNEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）による、『我が国の産学連携を強力に推進するための、国内最大規模の産学マッチングの場』です。出展には事前審査があり厳選された研究成果発表の場といえます。今年度は、**研究院 自然科学系 化学領域 竹内孝江先生**と担当学生より「**カビ臭スペクトルデータベース構築とカビ種検出ソフトウェア“MVOC Finder”の開発**」の研究内容についてご紹介しました。電機、食品分野等多くの企業さんから詳細説明を求められ、休憩する時間も無いといった状況でしたが、学生さんは空き時間をうまく見つけ他大学の研究パネルや、技術説明会を通して専門外の分野について学んでいました。



■ アグリビジネス創出フェア2013 (10/24、25)

アグリビジネス創出フェアは、農林水産省主催（後援 内閣府／文部科学省／経済産業省／特許庁他）による『全国の産学の各機関の有する農林水産・食品分野などの最新技術や研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として開催する「技術・交流展示会」です。』です。出展には事前審査があり厳選された研究成果発表の場といえます。今年度は、**研究院 自然科学系 生物学領域 岩口伸一先生**より「**ナラノヤエザクラ清酒酵母由来の赤色色素生産株実用化に関する研究**」についてご紹介しました。赤色清酒（純米酒）の開発に成功し、商品化されたというニュースは多くの方がご存知で「実物を見に来ました」とブースに立ち寄って下さいました。残念ながら今春に仕込まれた商品はすでに完売しており、今秋の新米での再仕込みが待たれています。現在は赤色生成メカニズムを解明する研究が進められており、来年度は担当学生からの報告があるかもしれません。



4. 活動報告<2>

本紙は産学連携推進レターとして、産学連携推進部門での活動報告を中心に（個別の研究案件については公開できませんことご容赦ください）報告していますが、地域連携推進事業との境界にあたる事業について、「活動報告<2>」としてご紹介します（公開講座、シンポジウムは地域連携推進事業です）。

■ NHK八嶋智人氏 トークショー（9/28）

毎年、初秋にNHK奈良放送局さんでは、公開行事として「NHK奈良わくわくステーション」を実施されていますが、今年は、その中の「こころの都トークショー」を本学講堂にて開催いたしました。ゲストは1989(平成元)年に本学附属中学校・高等学校（現 附属中等教育学校）卒の八嶋智人さんです。NHKさん、めぐるる奈良きたまち実行委員会の方々、学生（奈良女子大学放送局B-naRadio、きたまち広報部、きたまちを卒業テーマとしている人、生活環境学部瀬渡研究室）の実行部隊を初めとして、社会連携センター長内田先生、附属中等教育学校校長高田先生にも当日にお世話になりました。



■ 奈良女子大学と奈良紹介FLASH作成

「大学を会場としたイベントを実施するのだけれど、せっくなので、女子大の紹介を入れつつ奈良についても紹介できるようなコンテンツがあれば使いたい」と相談を受け、以前に大学紹介用に作成したFLASHデータを改編する形で、大学の四季と奈良の四季を紹介する4分程度のコンテンツデータを作成しました。

<http://www.nara-wu.ac.jp/kenkyou/news/photo/nwu/NWU&Nara16-9.html>

でもご覧いただけるようにしていますが、こういった案件も可能な限り、対応したいと考えています（費用の発生はありません）。



私たちの大学、国立大学法人奈良女子大学があります。



5. 今後の活動予定

■ 第11回研究フォーラム（13.11.4）

奈良女子大学研究フォーラムは大学での研究内容について学外の方に知っていただく場として、毎年開催を重ねてまいりました。本年は4月に奈良女子大学臨床心理相談センター が開設されたことをうけ、奈良女子大学臨床心理相談センター 開設記念企画第7弾 を兼ねて、研究院生活環境科学系臨床心理学領域の先生方の研究内容を講演形式でご紹介します。

日時：2013年11月4日 13時より 佐保会館2階にて

内容：[基調講演] 坂元 薫教授（東京女子医科大学）

現代日本のうつ病を解剖する—うつを病む人々に寄り添うために—

[教員講演]

「犯罪予防の心理学—大規模災害後の犯罪を防止するために—」

研究院生活環境科学系臨床心理学領域 岡本英生

「教師のバーンアウトとその支援」

研究院生活環境科学系臨床心理学領域 伊藤美奈子

「嗜癖問題に内観療法はどのように有効か」

研究院生活環境科学系臨床心理学領域 真栄城輝明

奈良女子大学第11回研究フォーラム
奈良女子大学臨床心理相談センター 開設記念企画第7弾
2013 11.4 Mon. 13:00-16:30
奈良女子大学構内 佐保会館2F
定員100名 参加無料 要申込み

「現代日本のうつ病を解剖する—うつを病む人々に寄り添うために—」
坂元 薫教授（東京女子医科大学）

「犯罪予防の心理学—大規模災害後の犯罪を防止するために—」
臨床心理相談センター 岡本英生

「教師のバーンアウトとその支援」
臨床心理相談センター 伊藤美奈子

「嗜癖問題に内観療法はどのように有効か」
臨床心理相談センター 真栄城輝明

質疑応答（進行：臨床心理相談センター 山根隆宏）

主 催 奈良女子大学 生活環境科学系臨床心理学領域 臨床心理相談センター
申込方法 奈良女子大学 生活環境科学系臨床心理学領域 生活環境科学系臨床心理学領域 生活環境科学系臨床心理学領域
申込先 生活環境科学系臨床心理学領域 生活環境科学系臨床心理学領域 生活環境科学系臨床心理学領域
申込期間 2013年10月15日（火）～10月25日（金）まで
申込受付時間 10時～17時（土日祝日を除く）
申込費 0円（会場費は別途）

学内に十分な駐車スペースがございません。公共交通機関をご利用ください。一部駐車場は予約が必要となります。

- 南都銀行ビジネスフェア（'13.11.20）
- 奈良マラソン2014（'13.12.7-8）
- 文部科学省産学官連携支援事業 全国コーディネーター活動 ネットワーク地域会議 at 奈良女子大学（'13.12.12-13）

6. グッズ

在庫がなくなっており、皆様にご不便をおかけいたしました**手提げ袋等も揃いました**。公開講座、学会等では右記オリジナルメモブックもご利用ください。



Size A5 32p

7. 各種公募情報

ここでは**研究助成公募**を載せています。

各種表彰などについては<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>をご参照ください。

また本学に募集のあった**共同研究の公募**については<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>をご参照ください。

(公財)日本科学協会 平成26年度笹川科学研究助成

【公募時期】平成25年11月1日～11月15日17時（必着）

【助成対象】(実践研究部門) C.実践研究

【助成金額】上限50万円/件（最長3年）

【備考】申請は申請登録フォームで登録と郵送の両方要 間接経費は助成対象外

(公財)日本板硝子材料工学助成会 平成26年度(第36回)研究助成

【学内締切】平成25年11月20日

【助成対象】無機の固体材料並びに関連材料の科学と技術の研究

【助成金額】上限120万円/件

【応募対象】大学院生応募不可

【備考】間接経費は助成対象外

(公財)電気通信普及財団 平成25年度研究調査助成

【公募時期】平成25年11月30日（必着）

【助成対象】電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査

【助成金額】原則1年間 30～150万円/件

【応募対象】大学院生(博士後期課程)応募可

(公財)長瀬科学技術振興財団 平成26年度研究助成

【学内締切】平成25年11月19日

【助成対象】生化学及び有機化学(材料化学を含む)、並びに関連分野における研究

【助成金額】H26年度 250万円/件

【備考】申請はWEB応募と承諾書郵送の両方要

WEB応募前に下書き用ファイルを研究協力係に提出要

間接経費は助成対象外

(公財)二十一世紀文化学術財団 平成25年度学術奨励金

【公募時期】平成25年11月29日必着

【助成対象】経済・政治・文化・社会及びそれに関連する分野の学術研究

【助成金額】1～2年 100～300万円/件

【備考】研究内容を理解する推薦者2名要 若手研究者歓迎 間接経費は助成対象外

(公財)風戸研究奨励会 第7回(平成25年度)風戸研究奨励賞

【学内締切】平成25年12月3日

【助成対象】電子顕微鏡並びに関連装置の研究・開発及びそれらを用いる研究提案(医学、生物学、物理学、化学、材料学、ナノテク、その他)

【助成金額】300万円/件

【応募対象】満35歳以下(H25/12/13現在)

(株)リバネス 第17回リバネス研究費

【公募時期】平成25年 B.11/29 24時(着) C.11/30 24時(着)

【助成対象】B.オンチップ・バイオテクノロジー賞 C.テンプR&D賞

【助成金額】上限50万円/件 他

【応募対象】若手研究者(40才以下) 申請には会員登録が必要

(一般財)第一生命財団 平成25年度研究助成 A.一般研究 B.奨励研究

【公募時期】平成25年11月15日(消印有効)

【助成対象】わが国の住生活の改善向上をはかるための研究

【助成金額】A:上限150万円/件 B:上限80万円/件

【応募対象】専任または有期専任の身分で常勤にて在籍している研究者

B:40歳未満(H25/11/15現在)の若手研究者(大学院生、専攻科生等は対象外)

(公財)国際科学技術財団 2014年研究助成

【学内締切】平成25年11月15日 正午

【助成対象】「エレクトロニクス、情報、通信」分野 「生命科学」分野
「クリーン&サステイナブルエネルギー」分野

【助成金額】上限100万円/件

【応募対象】(2014/4/1現在)35歳以下 但し、ライフイベント(出産、育児、介護)による研究経歴の中断が半年以上ある場合は、36歳以下も応募可

【備考】提出書類は、紙媒体と、CD-R/DVD-Rに記録したものを郵送 間接経費は助成対象外

(一般社)中央味噌研究所 平成26年度研究助成

【公募時期】平成25年12月2日(必着)

【助成対象】味噌醸造技術及び味噌関連研究

【助成金額】平成26年度研究 上限100万円/件

(公財)家計経済研究所 2014年度研究振興助成事業

【公募時期】平成25年11月25日(必着)

【助成対象】家計・家族・生活に関わる研究

【助成金額】平成26年度研究 上限100万円/件

【応募対象】(H25/11/25現在)40歳未満の専任教員(准教授以上は除く)

45歳未満の非常勤研究者または大学院生(大学院研究生を含む)

(公財)日本ユニフォームセンター 平成25年度基礎研究助成

【学内締切】平成25年11月20日

【助成対象】ユニフォームの改善・改良並びに未来のユニフォーム開発に関連する調査・研究

【助成金額】平成26年度研究 50万円/件

【備考】学生申請可(担当教員の承認要)

(公財)池谷科学技術振興財団 平成26年度研究助成

【学内締切】平成25年11月20日

【助成対象】先端材料及びこれに関連する科学技術

【助成金額】平成26年度研究 上限150万円/件

【応募対象】大学院後期課程在籍者・ポスドク申請可

【備考】申請には研究者登録が必要

TANAKAホールディングス(株) 2013年度「貴金属に関わる研究テーマ」

【公募時期】平成25年11月29日17時(必着)

【助成対象】貴金属が貢献できる新しい技術、商品の実用化に向けての研究・開発

【助成金額】50・200・500万円/件

【応募対象】申請は応募エントリーフォームより送信 学生応募可(担当教員了承要)

東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合 第2回TOBIRA研究助成

【公募時期】平成25年11月30日必着

【助成対象】バイオマーカー、診断薬、医療用診断機器および基礎医学に関する研究

【助成金額】総額50万円

【応募対象】学生応募可

(公財)JR西日本あんしん社会財団 成26年度研究助成

【公募時期】平成25年11月18日(必着)

【助成対象】事故、災害に対する備えや事故の防止に関する研究。事故、災害や不測の事態が起こった後の心のケアや身体的ケア等に関する研究

【助成金額】200万円以下/件

【備考】申請書作成フォームより申請 間接経費は助成対象外

(株)資生堂 第7回「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」

【公募時期】平成25年11月11日(着)

【助成対象】自然科学分野

【助成金額】2014/6-2015/5 100万円/件

【応募対象】女性研究者 指導的役割を担われている研究者(教授等)、学生・大学院生等は応募不可

(公財)たばこ総合研究センター 平成26年度研究助成

【学内締切】平成25年11月21日

【助成対象】たばこ、酒、茶、コーヒーなどの嗜好品等に関する人文科学、社会科学等の研究

【助成金額】H26年度 50・75・100万円/件

【応募対象】大学院生申請可(推薦者は指導教員)

【備考】一般管理費は助成対象外

嗜好品文化研究会 第8回研究奨励事業(研究助成)

【公募時期】平成25年12月20日 必着

【助成対象】さまざまな時代、地域での嗜好品のありようをテーマとした文化研究(個人研究)

【助成金額】H26/4/1-H27/8/31 上限60万円/件

【応募対象】:(H26/4/1現在)大学院に在籍する学生(留学生を含む 休学中、または海外からの出願も可) 指導教員の推薦書要

(公)伊藤徳三ひまし研究基金 平成26年度 A.研究助成金 B.顕彰事業

【学内締切】A:平成25年12月12日

【公募時期】B:平成25年12月20日 消印有効

【助成対象】ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体に関する調査・研究

【助成金額】A:100万円以内/件 B:個人20万円以内 グループ50万円以内

【備考】間接経費は助成対象外

笹川スポーツ財団 2014年度笹川スポーツ研究助成

【学内締切】平成25年11月20日

【助成対象】スポーツ分野における人文・社会科学領域研究の研究 A:奨励研究 B:一般研究

【助成金額】2014/4/1-2015/2/28 A:上限50万円/件 B:上限100万円/件

【応募対象】大学院生申請可 A:(2014/4/1現在)39歳以下の若手研究者

(公財)山田科学振興財団 2014年度研究援助候補推薦

【学内締切】各学会締切日の10日前

【助成対象】自然科学の基礎的研究

【助成金額】2年間 100~500万円/件

【備考】学系長承諾と学会推薦要

(公社)新化学技術推進協会 第3回新化学技術研究奨励賞

【公募時期】平成26年1月10日17時(必着)

【助成対象】先端化学・材料分野、ライフサイエンス分野、エネルギー・資源分野、電子情報分野、環境分野からの11課題と震災関連の特別課題

【助成金額】100万円/件

【応募対象】(2013/4/1現在)満40歳未満の研究者(学部生、院生は含まない)
但し特別課題については年齢制限を設けない

【備考】申請はHPにて応募登録後、応募申請書を送付フォームより送信 間接経費は助成対象外

(一般財)成和記念財団 2013年度 1.金萬有学術賞 2.研究奨励 3.学術助成

【公募時期】平成25年11月15日(消印有効)

【助成対象】自然科学の基礎または応用全般に関する研究

【助成金額】1.100万円/件 2.70万円/件 3.50万円/件

【応募対象】1.自然科学分野で博士号取得し、顕著な業績をあげた在日コリアン(在留資格が特別永住者)
2.H25/4/1現在、大学院博士課程在籍か同等以上の在日コリアン(在留資格が特別永住者)
3.在日コリアン研究者による学術研究発表を主催する学会・団体等

(公財)サントリー文化財団 2013年度若手研究者のためのチャレンジ研究助成

【公募時期】平成25年11月15日(消印有効)

【助成対象】人文科学・社会科学分野の個人研究

【助成金額】平成26年度 上限100万円/件

【応募対象】原則、博士前期(修士)課程修了以上の者 (2014/4/1現在)35歳以下の若手研究者

【備考】間接経費は助成対象外

(公財)河川財団 平成26年度河川整備基金助成事業

【公募時期】平成25年11月29日18時(必着)

【助成対象】調査・研究部門 A.指定課題助成 B.共同的研究助成 C.一般的助成 D.学術図書出版助成

【助成金額】A,B.3年以内 C.1又は2年 D.1年

1件あたり上限 A,B.900万円(300万円/年) C.機関500万円 研究者200万円 D.100万円

【応募対象】C:大学院生(博士後期課程)応募可 指導教員の上の承認書要
D.調査・研究部門で助成を受けた研究者

【備考】申請書はインターネットによるオンライン申請のみ 間接経費は助成対象外

(公財)エリザベス・アーノルド富士財団 平成26年度学術研究助成

【学内締切】平成25年12月5日

【助成対象】パンに関する食品科学の研究 (1)学術研究助成 (2)舟橋重明記念奨励助成

【助成金額】原則1年 (1)50~100万円/件 (2)1名50万円

【応募対象】(2)42歳以下(H26/4/1現在)

(独)日本学術振興会 平成25年度「課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業」
グローバル展開プログラム(公募研究テーマ)

【学内締切】平成25年11月18日 正午

【助成対象】人文学・社会科学の様々な分野における諸外国との協働を推進する研究テーマ 3課題

【助成金額】3年間 上限1千万円/年度

【備考】応募される方は事前に研究協力係まで連絡のこと

社会連携センター センター長 内田忠賢(研究院人文科学系)

産学連携推進部門 部門長 城和貴(研究院自然科学系) 小川伸彦(研究院人文科学系) 狐崎創(研究院自然科学系)

藤平真紀子(研究院生活環境科学系) 藤野千代(産学官連携コーディネータ)

地域連携推進部門 部門長 小林 毅(研究院自然科学系) 藤原素子(研究院人文科学系) 植野洋志(研究院生活環境科学系)

藤野千代(産学官連携コーディネータ)

大原昌一(研究協力課) 山下ひとみ(研究協力課研究協力係) 窪田順一(研究協力課社会連携推進係)

西倉久善(研究協力課社会連携推進係)